

令和5年度事業報告

食肉生産技術研究組合（以下「研究組合」という。）は、平成4年に設立され、主として（独）農畜産業振興機構の助成金により、食肉処理等に関する機械・施設の研究開発を行い、食肉処理施設等の近代化に寄与してきた。

（独）農畜産業振興機構の研究組合への助成が平成22年度で中止された以降は、国、団体が公募する研究開発事業に応募し、研究開発を行ってきた。

令和5年度も引き続き、国、団体等の公募事業に応募し、研究開発を推進するとともに、研究開発された成果について普及に努めた。

1. 研究開発事業の実施

国及び団体が公募する研究開発事業に応募し、次のとおり研究開発を推進した。

（1）公益財団法人伊藤記念財団委託事業

牛の背割りの自動化・効率化に関する研究開発事業（令和5年度～令和6年度）

熟練作業者の高齢化等に伴い、食肉処理施設から牛の背割り作業の自動化が要請されていることから、牛の自動背割り機に関する研究開発を行った。

（2）生研支援センター事業

豚ロース・バラ自動脱骨装置研究開発事業（令和4年度～令和6年度）

豚ロース・バラの脱骨は、低温下でナイフを使用する危険な作業で熟練が必要のため、深刻な人手不足を招いていることから、ロボット自動脱骨装置を開発中である。

（3）血斑低減頭部保定式スタニング装置開発事業

（JRA事業）（令和5年度～令和7年度）

血斑を低減するには牛の頭部への正確なスタニングが不可欠であるため、頭部を正確に保定するための頭部保定式スタニング装置を開発中である。

2. 研究成果の普及

研究成果の普及を図るため、令和6年2月22日に大手町KDDIホールで食肉処理施設や関係者118名の参加を得てZOOM方式併用で研究成果発表会を開催するとともに、東京ビックサイトで令和6年3月5～8日に開催された食肉産業展に出展し、研究成果の普及に努めた。（参加者：フーデックスと合計で76,183人）

また、（公財）日本食肉生産技術開発センターの機関誌「JAMTI BULLETIN」（300部）やホームページにより研究成果の普及に努めた。

3. システム研究会の実施

研究組合の組合員間の技術交流を通じて、研究開発の一層の推進を図るため、令和5年10月26日に大手町KDDIホールでZOOM方式併用により食肉生産技術システム研究会を開催した（参加者37名）。

4 理事会・総会の開催

(1) 理事会

ア 第1回理事会

令和5年5月30日

議題 総会提出議案について

- ① 令和4年度事業報告及び決算報告書に関する件
- ② 令和5年度事業計画及び収支予算の変更に関する件
- ③ 公的研究費に関する不正防止対策の基本方針の作成の件
- ④ 役員を選任候補者の推薦に関する件

イ 第2回理事会

令和5年5月30日

議題

理事長及び専務理事の選任に関する件

ウ 第3回理事会

令和6年2月28日

議題

- ① 令和6年度事業計画及び収支予算に関する件
- ② 令和6年度賦課金に関する件
- ③ 食肉生産技術研究組合の定款変更に関する件
- ④ 令和6年度通常総会の開催に関する件

報告

食肉生産技術研究組合の令和5年度下半期事業の実施状況報告

(2) 総会

ア 通常総会

令和5年5月30日

議題

- ① 令和4年度事業報告及び決算報告書に関する件
- ② 令和5年度事業計画及び収支予算の変更に関する件
- ③ 公的研究費に関する不正防止対策の基本方針の作成の件
- ④ 役員を選任に関する件

イ 臨時総会

令和6年2月28日

議題

- ① 令和6年度事業計画及び収支予算に関する件
- ② 令和6年度賦課金に関する件
- ③ 食肉生産技術研究組合の定款変更に関する件

5 組合員及び理事の異動
理事及び監事の選任

令和5年5月30日の総会において、次のように理事及び監事が選任された。

| | | | | | |
|---|---|----|----|-------------|------------|
| 理 | 事 | 海内 | 智治 | 花木工業株式会社 | 専務取締役 |
| 理 | 事 | 木下 | 良智 | 学識経験者 | |
| 理 | 事 | 兒玉 | 龍二 | 株式会社前川製作所 | 理事 |
| 理 | 事 | 新開 | 稔 | JA全農ミートフーズ | 執行役員 |
| 理 | 事 | 原口 | 悟 | 東西産業貿易株式会社 | 代表取締役 |
| 理 | 事 | 福田 | 武仁 | 日本畜産興業株式会社 | 代表取締役社長 |
| 理 | 事 | 鳴海 | 秀一 | 日本ハム株式会社 | 執行役員 |
| | | | | 食肉事業部 | 国内食肉第一事業部長 |
| 理 | 事 | 益留 | 福一 | マトヤ技研工業株式会社 | 代表取締役 |
| 理 | 事 | 宮坂 | 亘 | 学識経験者 | |
| 監 | 事 | 濱 | 勝也 | 共和化工株式会社 | 常務取締役 |

令和5年5月30日の総会後に開催された第2回理事会において、宮坂亘氏が理事長に、木下良智氏が専務理事に選任（再任）された。